

支援シート（個別の支援計画）をご存じですか？

神奈川県の小・中・高等学校では、特別な支援が必要な児童生徒一人ひとりの個別の支援計画として「支援シート」を作成し、支援の内容などを次のライフステージに引き継ぐ際の連携ツールとして使用しています。



Q「支援シート」はどんな場合に作成するの？

A 特別支援学級に在籍する児童生徒、通級指導教室に通う児童は、必ず作成します。その他、特別な支援が必要な場合にも作成することがあります。

Q「支援シート」は誰が作成、保存するの？

A 保護者と担任、教育相談コーディネーター等が面談などで相談しながら作成します。コピーを所属機関に渡し、原紙は保護者が保存します。次の所属機関には、保護者が持参します。

Q「支援シート」って具体的にはどんなふうに使うもの？

A まず、現在の所属機関（学校や学年など）で、所属機関、家庭生活、地域生活などにおける、これまでの支援の取組内容と評価について振り返り、記入します。記入された「支援シート」を、次の所属機関に提示し、これまでの取組と評価について伝え、それをもとに、これからの支援の取組について相談します。これまでの取組内容と評価を、確実に次の機関や関係者と共有し、引き継ぐことができます。

Q 一度作ったら、小学校6年間同じもの？

A 次の機関へ移行するときとは別に、3年に一度は支援シートの作成・評価・再計画を行います。また、毎年度初め等に、必要に応じて内容の見直しを行うこともあります。

Q 個別の支援が必要だと思うので作りたい場合、どうすればよいですか？

A まずは、担任の先生や教育相談コーディネーターと、お子さんに必要な支援について具体的にご相談ください。幼稚園や保育園、こども園や通っていた療育機関等で作成されたものがある場合はお持ちいただくとスムーズに相談できます。

